

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	2-1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる	事業群主管所属・課(室)長名	産業労働部 新産業推進課	原田 啓輔
施策名	1 成長分野の新産業創出・育成	事業群関係課(室)		
事業群名	⑤ 高齢化社会に対応するヘルスケア産業の振興	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額	40,207

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)							(取組項目)			
超高齢社会や健康意識の高まりを背景に、今後の成長が見込まれるヘルスケア産業において、異業種連携によるサービスの複合化や地域資源の活用等により、健康寿命延伸につながる付加価値の高いヘルスケアサービスの創出を促進し、成功事例を広く普及させることで、本県のヘルスケア産業の底上げを図ります。							i)ヘルスケア関連分野の新たなサービスの事業化の支援			
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	支援事業者のうち、前年比で売上がアップした事業者の割合	目標値①		100%	100%	100%	100%	100%	100% (R7)	
		実績値②	—	20%	42%	25%			進捗状況	
		達成率②/①		20%	42%	25%			遅れ	
令和3年度に終了したヘルスケア産業創出促進事業では、超高齢社会の到来や健康意識の高まりを背景に、今後の成長が見込まれるヘルスケア産業(公的保険を支える公的保険外サービスの産業群)において、異業種連携によるサービスの複合化や地域資源の活用等により、健康寿命延伸につながる付加価値の高いヘルスケアサービスの創出を目指し、新サービスの事業化を支援してきた。 令和4年度以降は、業種や分野は限定せず、ヘルスケア産業を含め、「県外需要獲得」、「生産性向上」等に取り組む事業者のうち、高い意欲と潜在力を持ち、地域経済への波及効果が期待できるサービス産業事業者に対して、事業計画策定から実践までの伴走支援を行い、成功モデルの創出に取り組んだ。 令和5年度に支援を行った事業者については、令和5年度と令和6年度の売上の比較を行うため、事業群としての指標の実績値の把握時期は令和7年度となるものの、将来的な効果の発現を見込む。										

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要 令和5年度事業内容及び実施状況 (令和6年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和5年度事業の成果等
				R4実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R4目標	R4実績	達成率	
				R5実績					R5目標	R5実績		
				R6計画					R6目標			
				事業実施の根拠法令等								
				事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業			他の評価 対象事業 (公共、研究等)			
所管課(室)名				事業対象								
取組項目 i	○	1	サービス産業経営体質 強化事業費	122,399	20,631	15,306	●事業内容 将来的な成長が期待される県内企業の認定やハンズオン支援を行うことにより、当該企業の認知度向上と成長、他の県内企業への挑戦意識の広がりにつなげる。 ●実施状況 高成長への意欲と潜在力を持ち、地域経済への波及効果が期待できるサービス産業事業者を、長崎県ネクストリーディング企業として認定し、DXによる県外需要獲得・生産性向上等を目指す取組をハンズオン(伴走)で支援した。	【活動指標】 ハンズオン支援(※)する事業者の数(累計) ※伴走支援	15	11	73%	●事業の成果 ・長崎県ネクストリーディング企業を新たに16者認定した。また、事業者の成長に向けた事業計画策定・計画実践支援に向けたハンズオン支援を18者に対して実施した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・ハンズオン支援により、県内中小企業者の生産性向上に寄与した。
				40,207	19,442	11,489			20	18	90%	
				36,932	21,893	7,781			30			
								R4:計画を実践した事業者数(累計)	10	16	160%	
			R3-8	—				R5:ハンズオン支援開始5年後における支援先の付加価値額増加率平均(%)	—	—	—	
			新産業推進課	—	—	—		R6:ハンズオン支援開始翌年度以降における支援先の付加価値額増加率平均(%)	—			

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	ヘルスケア関連分野の新たなサービスの事業化の支援	
	●実績の検証及び解決すべき課題 支援を行ったヘルスケア関連産業事業者においては、売上が前年度と比較すると増加した者もいるものの、さらに、商品・サービスの改善や消費者の認知度向上に向けた支援を行っていく必要がある。	●課題解決に向けた方向性 ヘルスケア関連産業の新サービスの事業化にあたっては、新商品・サービスの品質の改善を図る必要があるため、当該分野の専門家や協業先とのマッチングを促進し、早期の事業化を促していく。

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和6年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和6年度の新たな取組は「R6新規」と、見直しが無い場合は「―」と記載	令和7年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
i	○	1	サービス産業経営体質強化事業費	令和5年度までは、支援主体の長崎県産業振興財団に加え、外部コンサルタントを活用しながら事業を行ってきたが、令和6年度からは、これまで外部コンサルタントから得られ、蓄積したノウハウを活用することで、長崎県産業振興財団単独での委託事業として、支援を進める。	③	令和7年度に向けては、これまでのハンズオン支援で蓄積したノウハウの集約や各支援事例の分析を進め、効率的かつ効果的な支援手法について、随時、検討を行っていく。	改善
			R3-8				
			新産業推進課				

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】
① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩ その他の視点